

ミニキッチンユニット取付・設置説明書 KM-7型

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書はミニキッチンのもので、その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物理的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。
(左図の場合はアースを確実に取付けてください。)



警告



- **ステンレス製ワークトップやシンクを取扱うときは、必ず保護手袋をする。**

切断面にさわるとけがをするおそれがあります。



- **ネジ固定時の締付けすぎによるネジ空回りのないようにする。**

キャビネットなどが落下したり、製品が倒れて、けがをするおそれがあります。



- **電気の配線作業は、関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう。**

接続や固定が不完全な場合は、発煙や火災のおそれがあります。



- **ミニキッチンユニット本体および組込み機器のアースを確実に取り付け専用の漏電遮断器を設置する。**

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アースの取り付けは、販売店にご依頼ください。
ガス管への接続は、絶対にしないでください。



- **キッチンに組み込まれる電気製品、調理器具、その他の機器については、それぞれの商品の取付・設置説明書、本体の注意表示を必ずご覧ください、正しい設置作業をおこなう。**

設置方法を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となるおそれがあります。



- **取付・設置に使用する溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって正しく使用する。**

使用方法を誤ると人体に害をおよぼしたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

⚠ 注意



- 製品に乗ったり脚立などをたてない。

製品が変形したり、落下してけがをするおそれがあります。



- 防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールは確実におこなう。

水が漏れたり、湿気が上がり床が腐るおそれがあります。



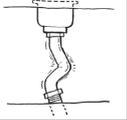
- 通水後シンクの中の水滴を拭き取り、封水切れが無いを確認する。

シンク内の水垢付着や浄化槽の塩素ガス等が逆流し、錆・孔食が発生するおそれがあります。



- 排水パイプはU字型に曲げたり、折り曲げて取り付けない。

使用中に排水パイプがつまり、シンクから水があふれて、床をよごすおそれがあります。



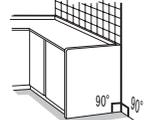
- ミニキッチンユニット本体および組込機器を絶対に分解したり、修理・改造したりしない。

発火したり異常作動をしてけがをするおそれがあります。



- 製品は水平で平滑な壁面・床面にしっかりと固定する。

製品が倒れてけがをするおそれがあります。また、扉の段違いを生ずるおそれがあります。



- 設置作業完了後は扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する、扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジをしめなおす。

扉が落ちて、けがをするおそれがあります。

取付・設置上のお願い

お 願 い



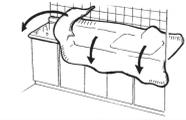
- 運搬中、製品をぶつけない。また、運搬は二人以上で行う。

製品を周辺設備にぶつけると製品および周辺設備が破損したり、傷がつき使用できなくなります。



- 設置作業中はステンレストップにおおいをし、保護をする。

くぎやネジ類が落ちてきた場合にステンレスに傷がつく場合があります。



- 清掃をする場合は台所用中性洗剤以外は使用しない。

変色したり、つやがなくなるおそれがあります。



工具

設置作業に際し、下記の工具をご用意ください。

電動ドライバー、モンキースパナ、脚立、メジャー、カッターナイフ、ローラー（又は、ハンマー+当て木）、ジグソー（又は、あぜ引のこ）、ドリル、マイナスドライバー

1. 取付・設置の事前確認

1-1. 取付・設置部位の建築側の仕様確認

製品を設置しようとする壁面には、右図に示す位置に固定できる補強があることを確認してください。



⚠ 注意

- 製品取付位置の壁面には、固定できる補強があることを確認する。
製品が落ちて、けがをすることがあります。



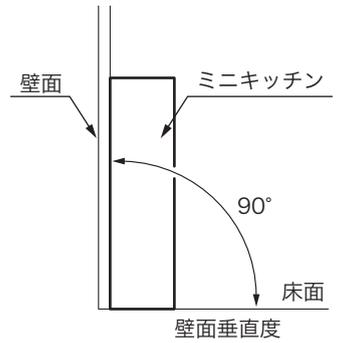
⚠ 注意

- 製品は、水平で平滑な壁面・床面にしっかりと固定する。
製品が倒れて、けがをすることがあります。



1-2. 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認

- ・設置場所の水平・垂直・直角などのレベルを確認し、床面上の木クズ・ゴミなどは取り除いてください。
- ・ミニキッチンを設置する床面及び壁面に凹凸があると、扉に段違いが生じますので、必ず平滑に仕上げてください。



1-3. 建築側の間口・取合い寸法の確認

- ・製品の設置場所の間口、取合い寸法を確認してください。
- ・壁の横に設置する場合は、扉や取手及び引出しがドア枠、ドア、ドアノブ、見切り等に当たらないかどうかをご確認ください。

1-4. 給湯水管・排水管の位置の確認

- ・給湯管・給水管及び排水管が所定の位置にあるか確認してください。

1-5. 電気温水器組込タイプの場合は、電温専用のコンセントの設置を確認してください。(注)1 参照)

1-6. 床面の仕上げについて

- ・製品搬入前に床面を仕上げてください。

1-7. 製品の荷受け確認

- ・注文通りの製品が納入されているかどうか、製品の損傷・付属部品の不足はないかなどの製品の荷受け確認してください。

■荷姿と同梱部品 機種により部品構成が異なりますので数量、型式の確認をしてください。

上部ユニット

- 木口カバー× 2
- 換気扇取付金具× 4
- 取付要領書× 1

冷蔵庫

※Dタイプのみ

電気温水器

RE12SXT400
又は
RE25SXT400

※電気温水器組込タイプのみ

電気・ガスこんろ

※ラジエーター以外は、現地取付けとなります。

下部ユニット

- 混合水栓
- 取扱説明書
- 継ぎ目エッジ× 2
- ふさぎ板
- フレキ管セット
- 排水ホッパー

水栓箱内の同梱部品

- L字金具 (本体固定用) × 2
- コーキング材 (チューブ式)
- マスキングテープ
- ナベねじ× 2本 (φ3.5×50・・・メッキ品)
- 血木ねじ× 4本 (φ3.5×40・・・メッキ品)
- トラスねじ× 4本 (φ3.5×16・・・メッキ品)
- トラスねじ× 4本 (φ3.5×40・・・ステン品)
- トラスねじ× 4本

※1. 電気温水器組込タイプのみ同梱されています。
 ※2. 内容については、梱装箱と同梱箱内の取説に表示されています明細を参照して下さい。

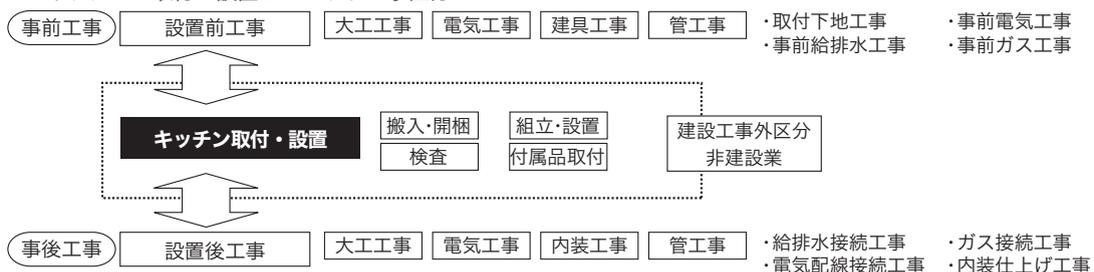
工事区分

警告

◎本説明書は、ミニキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事（給排水）、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。

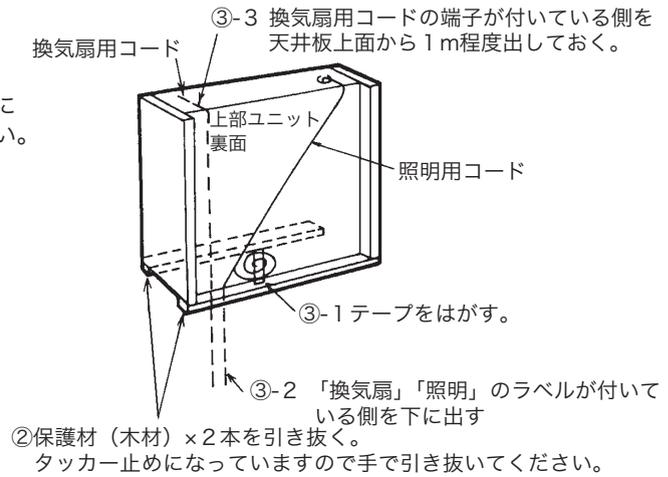
建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「ミニキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。

■ミニキッチンの取付・設置とユニット工事区分



2. 開梱 (カッターナイフ)

- ① 同梱部品の確認
 - ② 上部ユニット下端に付いている保護材の取り外し (右図参照)
 - ③ 上部ユニット裏面にテープ止められている2本の電源コードの引き伸ばし (右図参照)
- を開梱と同時に行ってください。



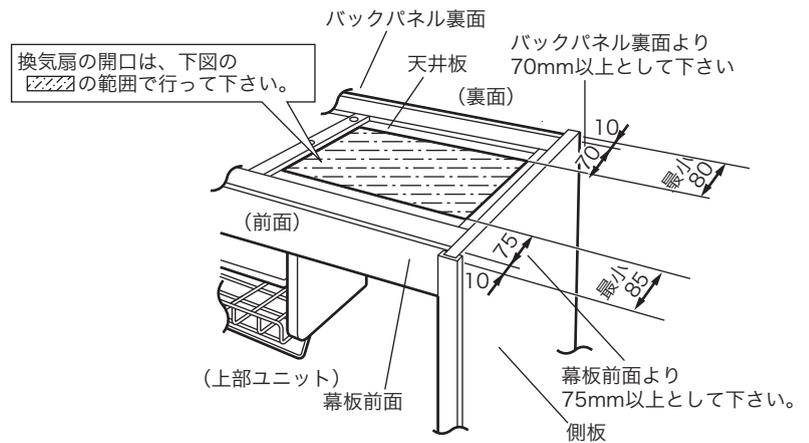
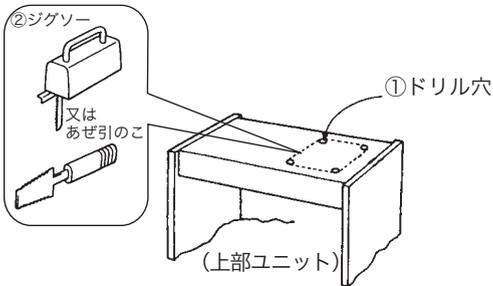
3. 換気扇取付穴加工

(ドリル、ジグソー又はあぜ引のこ、脚立)

- ※1 換気扇の取付けは、付属の換気扇取付金具で必ず取付けてください。
(上部ユニットの保護材に木口カバーと共にテープ止めしてあります。)
- ※2 換気扇を取付けるための開口は、下図の範囲で行ってください。

穴加工手順

- ①ドリル穴はユニット内部から
- ②ジグソーはユニット外部から行うことによりハマカケ等の防止になりきれいに仕上げられます。



4. 上・下部ユニットの組立 (電動ドライバー)

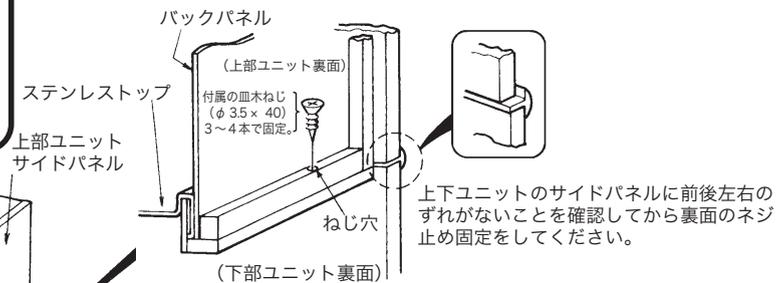
- ①下台両側に取付ているステンレストップ固定用板をはがす。

注意

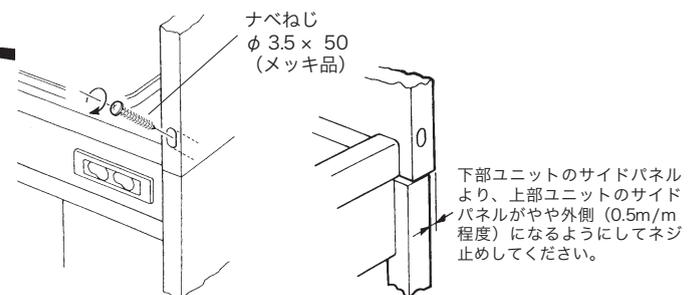
- 上・下部ユニットの組立直前に固定用板をはがす。

ステンレストップ固定用板をはがし、下部ユニットを運搬した場合、ステンレストップがはずれ、破損やケガの原因となります。

- ③上部ユニットを下部ユニットの上に乗せた後ミニキッチンユニット裏面のネジ止め固定をしてください。



- ④ ミニキッチンユニット前面のネジ止め固定



- ② 継ぎ目エッジを両サイドに貼付。
継ぎ目エッジに付いている両面テープの裏側をはがした後、下部ユニットのサイドパネル裏面と継ぎ目エッジの端を合わせて貼り付けてください。

- ⑤ 前面のネジ止め固定の際、下記の点に注意してください。

5. こんろ設置方法

(※ラジエントヒーター以外のこんろは、現地取付けとなります。)

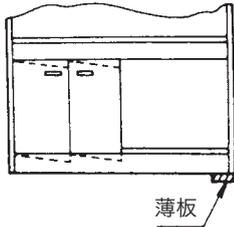
- こんろに添付の取付・設置説明書に従い設置を行なってください。
- 電気こんろの場合は差込プラグを下部ユニットに取付けてある、コンセントに確実に差し込みます。

6. ミニキッチンユニットの固定

(電動ドライバー、脚立)

※水平でしっかりした床面にして設置してください。

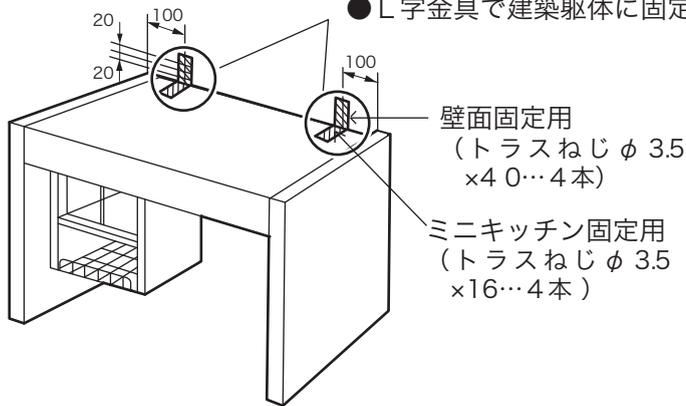
6-1. 扉の調整 (床面が不備の場合、ユニット固定の前に扉の調整をしてください。)



- 扉が右さがりの場合は、右側の側板に薄板を敷いてください。(左図)
左さがりの場合は反対側に敷いてください。

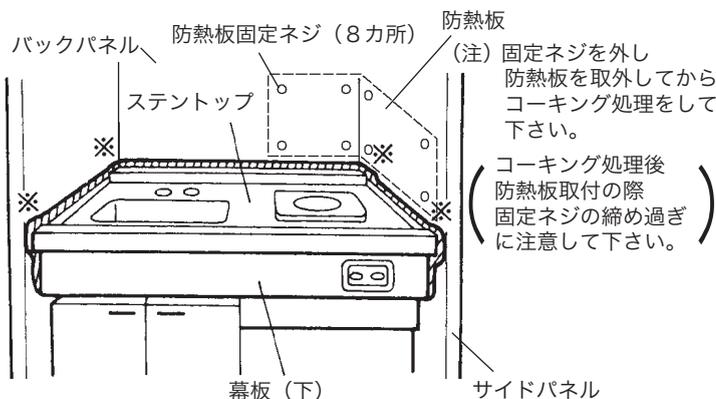
6-2. ユニット本体の固定

- L字金具で建築躯体に固定してください。



7. コーキング処理

コーキング材 (チューブ式) とマスキングテープは、付属されています。



- ステントップ、幕板 (下) とサイドパネル、バックパネルとのすき間をコーキング処理してください。(ハーフタイプの場合も同様に、3方スペーサー取付後、上図のコーキング処理をしてください。)

※ 印4ヶ所にステントップ立ち上がり部にすき間があります。(上図の  部分)

コーキング箇所は、ごみ・汚れのないようにしてください。

又、コーキング処理後 (硬化まで約 12Hr) ゴミが付着しないように養生してください。

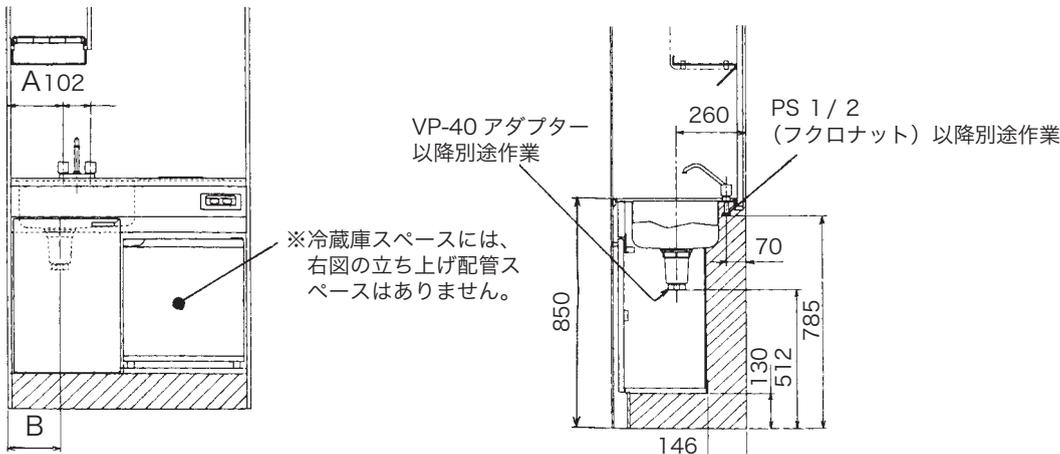
8. 混合水栓取付 (モンキースパナ)

- 水栓箱に同梱の取付説明書にしたがってください。
取付用のナット類は充分締め付けて、ステントップからの水漏れのないようにしてください。

9. 給・排水配管接続作業（専門業者の方に依頼してください。）

9-1. 配管スペースと配管接続位置

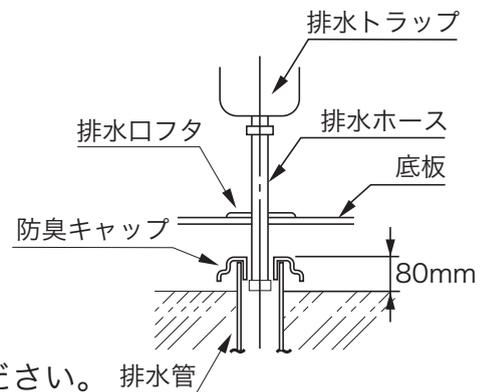
（図中の  内で配管を通してください。）



電気温水器組込タイプで冷蔵庫付の場合はありません。
品名 (KM-1207WWD、KM-1507WWD)

機種名	寸法	A	B
KM-1507	S D	330	316
KM-1207	S D	229	215
KM-1057	S D	229	215
KM-907	S D	209	195

- 排水管は硬質塩ビ管 (VP-40) の直管接続とし、下水管との接続部は、必ず充填材で密閉してください。
ジャバラホースにて配管する場合は、配水管との接続部に防臭キャップをはめ込み完全にシールしてください。
防臭キャップを固定したあと、抜けないことを確認してください。
- サイドパネル方向に配管される場合は、配管の通過する部分を現地にて切欠作業をしてください。
- 配管が通過する底板、背板部分は、現地加工となっています。
付属のふさぎ板 (トラスねじ付き) を介してきれいに仕上げてください。



9-2. 先止め式電気温水器配管接続作業（電気温水器組込タイプのみ）

〔電気温水器周囲のすきま寸法は、消防庁通知により定められた数値に従って設置してください（上面 4.5cm・周囲 0cm 以上）〕
〔各部材間の接続・取付方法は、水栓に添付の取付・取扱説明書の指示に従って設置をしてください。〕

- 電気温水器に付属の施工説明書をご覧になり、配管接続作業を行ってください。

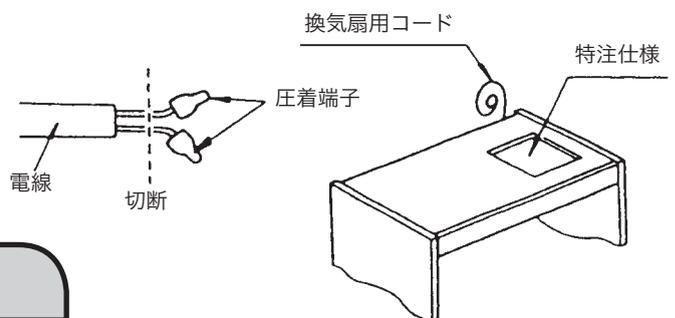
10. 電気接続作業

（電気工事店に依頼してください。）

10-1. 上部ユニット

換気扇接続作業

バックパネルよりでている電線を換気扇内のターミナルに接続してください。
電線の先端についています圧着端子を切断してから接続してください。



警告



- 換気扇を取付けない場合は、絶対に切断しない。

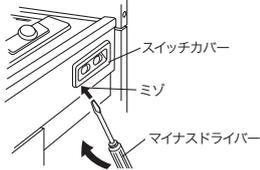
天井板は、ネジのきかない材料です。必ず付属の換気扇取り付け金具を使用して換気扇の取り付けをしてください。ネジによる換気扇の固定をした場合落下の原因となり破損やけがのおそれがあります。

10-2. スイッチ（外部電源接続端子、上下接続端子及びコンセント付）への100V電気配線の接続

【※200V電気こんろ組込みの場合には、下記の100V電源接続の他に、200V電源接続作業が必要です。】

①スイッチカバーの取り外し

スイッチの左下にあるミゾにマイナスドライバーの先を差し込み、テコの要領でスイッチカバーを浮かし取外してください。

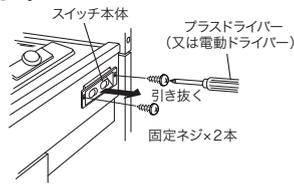


警告

スイッチ本体を付けた状態で、コードの接続は行わない。
下方からコードを差し込む作業は接続が不完全となり、発煙や火災の恐れがあります。

②スイッチ本体の取り外し

カバーを取外した後、本体を固定しているネジ2本をプラスドライバーで外し、スイッチ本体を手前に引出してください。

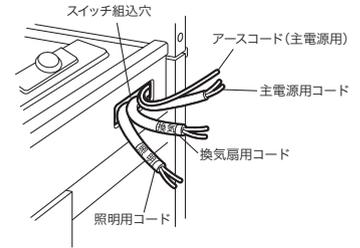


注意

スイッチ本体を取外した後、本体を分解したり、落下させない。
接続不良や割れ・破損の原因になります。

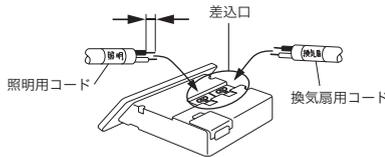
③換気扇用コード、照明用コード、主電源用コード、アースコードの引き出し

スイッチ本体を引出した後、スイッチ組込穴から換気扇用コード、照明用コード、主電源コード、アースコードを引出してください。



④換気扇用コード・照明用コードの接続

- 各コードの長さは、下図差込口にあるストリップゲージを用いて、決めてください。
- 照明・換気扇各々の差込口にコードを差し込んでください。
- コード接続後、軽く力を加え、抜け・ゆるみがないことを確認してください。



注意

差込口に主電源用コードを差し込まない。
スイッチ故障の原因になります。

⑤主電源用コードの接続

- 主電源端子台のカバーのミゾにマイナスドライバーの先を差し込み、ひねるとカバーが外れます。(図1)
- 主電源コードの皮むき長さはカバーにあるストリップゲージを用いて決めてください。(図1,2)
- 端子台の各々のネジをゆるめ、電源(黒)、電源(白)、アース(緑)のコードを端子台とナットの間に差し込み、ネジを締めてください。(図3)
- コード接続後、軽く力を加え、抜け・ゆるみがないことを確認してからカバーを取付けてください。

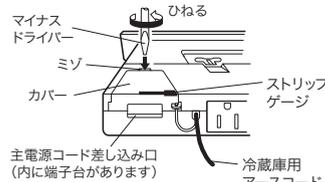


図1

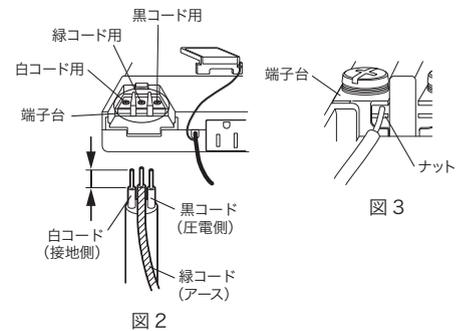


図3

図2

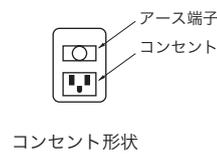
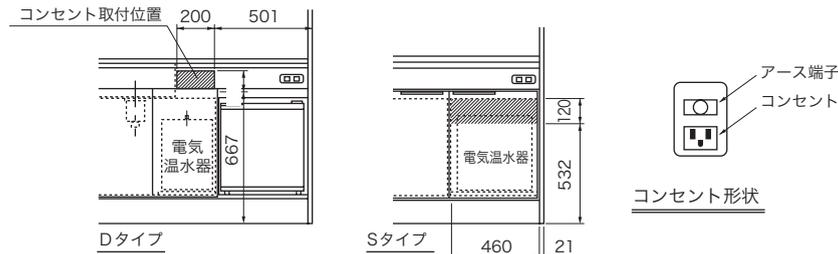
注意

電源コード接続終了後、スイッチ本体をミニキッチンに取付をする際、ネジの過度な締付をしない。
本体の割れや、取付ネジの空転の原因になります。

10-3. 電気温水器用電気接続作業（電気温水器組込タイプのみ）

●電気温水器専用コンセントの設置

電気容量の関係上、ミニキッチンとは、別回路の電源に接続した電気温水器専用のコンセント（アース端子付）を下図の斜線部分に設置してください。



注1.

専用コンセントは、材料・接続作業共に別途になっています。予め設置位置を決定し、ミニキッチン設置前に作業を完了しておいてください。

●電気温水器の電源接続

ミニキッチンとは別回路の専用コンセントに、電気温水器から出ているプラグの差し込みと、アース線の接続をしてください。

警告



100V仕様の電気温水器に200Vの電圧をかけない。
ヒーターの断線、火災の原因になります。

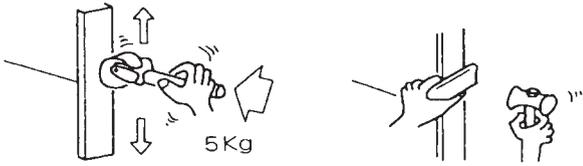


ミニキッチンのコンセントへの接続は行わない。
電気容量がオーバーになり火災の原因となります。

11. 木口カバー取付（金鋸、ローラー又は、ハンマー+当て木）

- 木口カバー長さは、貼付面（側板の木口面）の長さよりも約20mm前後長い寸法となっていますので、木口カバーを貼付面に合せ、切断長さを確認後、金鋸等で切断してください。
- 上部、下部ユニットサイドパネル木口に貼り付けてある両面テープの離型紙をはがした後、木口カバーの接着面の汚れを取り除きサイドパネル前面にはめ込み圧着してください。

尚、この作業は、竣工間際の清掃の 때가最適です。



- 木口カバーの裏面の油分、水分、ゴミなどはきれいに除いてください。
- 感圧接着剤を用いていますから左図のように圧着ローラか、当て木をした上からハンマーにて軽くたたく等してよく圧力(5kg)をかけてミニキッチンユニット本体木口に密着させてください。

12. 完了検査

- 設置終了後、直ちに、次の手順により、電気コンロの確認試験を必ず行ってください。

1. 試験前に養生の為の、ビニールシートをお取りください。
2. 電気試験

〔ガスコンロを使用の際は、ガスコンロタイプ付属の取付・設置説明書に従って確認試験を行ってください。〕

項目	操作手順	確認
絶縁テスト	コードプラグに絶縁抵抗計をセット（導電部とアース端子部に）した後熱量調節器を「6」位置に入れ絶縁抵抗計の値（数値）を調べる。	● 1 MΩ以上の値であるか確認してください。
通電テスト	コードプラグを設置コンセントにセットした後、熱量調節器を「6」に入れてください。	● コンロが熱くなるかをお確かめください。 ● 電源ランプが点灯するかをお確かめください。
切換スイッチ	切換スイッチに連動している熱量調整器を「1」位置に入れてください。 切換スイッチツマミを「右」へ操作してください。	● 電源ランプが点灯するかをお確かめください。

- ミニキッチンの全体の検査を行ってください。部品の未取付、ネジの未取付、間違った取付けはされていないか、コーキングは完全か検査してください。
- 配管・配線については、使用前に検査・点検してください。
- 「取扱説明書」は必ずお客様にお渡しください。
- 電気コンロ、冷蔵庫、電気温水器には保証書がついています。電気温水器保証書は取扱説明書に同封、コンロ及び冷蔵庫保証書は冷蔵庫梱包箱内に同梱されていますので、必ずお客様にお渡しください。
- 下台電気配線Fケーブルは電気コンロ下側に触れないように、キャビネットに取り付けてある専用結束具でしっかりと固定されているか確認してください。電気コンロ下側に電気配線Fケーブルが触れていると、短絡発火のおそれがあります。

- 電気温水器の電源は、専用のコンセントに接続されているか確認してください。（ミニキッチンユニットのコンセントに接続されていないことを確認してください。）